

# 災害の概況

(平成29年)



鳥取県西部広域行政管理組合  
消防局



# 目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
<b>I 火災概況</b>	<b>3</b>
1 火災の現況と最近の動向	3
別図 I - 1 火災件数の推移と傾向図	3
別表 I - 1 火災総括表	4
2 出火状況	5
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	5
別図 I - 3 月別の火災種別ごと出火件数	5
別図 I - 4 市町村別火災件数と構成比	6
3 火災による死傷者の状況	6
別表 I - 2 火災種別死傷者発生状況	6
4 出火原因	7
別図 I - 5 火災種別ごとの火災原因	7
別表 I - 3 市町村別火災状況	8
別表 I - 4 過去5年間の市町村別火災件数	9
<b>II 救急概況</b>	<b>10</b>
1 救急出動件数、救急搬送状況	10
2 市町村別救急活動状況	10
3 傷病程度別搬送状況	10
4 年齢別搬送状況	10
5 署所別救急活動状況	10
6 月別救急活動状況	10
7 現場到着所要時間、収容所要時間	10
8 応急手当実施状況	10
9 高度救命処置状況	10
10 救急講習件数の推移	10
11 市町村別救急活動の推移	10
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	11
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	11
別図 II - 3 過去5年間の救急推移	12
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	12
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	13
別図 II - 6 年齢別搬送状況	13
別図 II - 7 署所別救急活動状況	14
別図 II - 8 月別救急活動状況	14

別図Ⅱ－ 9	現場到着所要時間	15
別図Ⅱ－ 10	収容所要時間	15
別図Ⅱ－ 11	応急手当実施状況	16
別図Ⅱ－ 12	高度救命処置状況	16
別図Ⅱ－ 13	医師引き継ぎ時の状況	16
別図Ⅱ－ 14	過去5年間の救急講習件数推移	17
別図Ⅱ－ 15	過去5年間の救急講習人員推移	17
別表Ⅱ－ 1	過去5年間の市町村別救急件数	18
<b>Ⅲ</b>	<b>救助概況</b>	<b>19</b>
1	事故種別救助出動状況	19
2	事故種別救助活動状況	19
3	事故種別救助人員状況	19
4	管轄別救助活動状況	19
5	市町村別救助活動状況	19
6	月別救助活動状況	19
別図Ⅲ－ 1	事故種別救助出動状況	20
別図Ⅲ－ 2	事故種別救助活動状況	20
別図Ⅲ－ 3	事故種別救助人員状況	21
別図Ⅲ－ 4	管轄別救助活動状況	21
別図Ⅲ－ 5	市町村別救助活動状況	22
別図Ⅲ－ 6	月別救助活動状況	22
<b>Ⅳ</b>	<b>119番着信概況</b>	<b>23</b>
1	着信件数の概況	23
2	月別の119番着信状況	23
3	電話種別による119番着信状況	23
4	携帯電話からの着信状況	23
5	時間帯別119番通報の着信状況	23
別表Ⅳ－ 1	119番着信件数	24
別表Ⅳ－ 2	月別119番着信状況	24
別表Ⅳ－ 3	電話種別による119番着信件数の推移	25
別表Ⅳ－ 4	電話種別による通報状況	25
別表Ⅳ－ 5	携帯電話からの着信状況	26
別表Ⅳ－ 6	携帯電話の消防機関別転送状況	26
別図Ⅳ－ 7	時間帯別着信状況	26

# 災害概況のまとめ

(※注：以下の増減数値は、昨年同期比を示します。)

## I 火災概況

平成29年中の火災件数は、89件で前年に比べ29件の減少となりました。

建物火災は20件の大幅な減少となり、その他火災は7件減少、林野火災は5件減少、車両火災は2件増加、船舶火災は1件増加となりました。

建物火災は、36件の発生件数があり全体の40%を占め、5月に7件、11月に5件発生しています。

火災件数が減少したことにともない、焼損床面積は約47%の減少、損害額は28%の減少となりました。

火災による死者は無く、負傷者は4人で前年に比べ16人減少しました。負傷者は全て建物火災により発生しています。

住宅用火災警報器の設置義務化後、住宅用火災警報器が作動し早期に火災に気づき、火災にいたらなかった事例等が年々増えています。平成29年中は、火災発生時に住宅用火災警報器が作動した事例が4件あり、被害の軽減にあわせて死者の発生はありませんでした。

今後とも、住民の皆様に対する日頃からの出火防止の啓発、万一火災が発生した場合に延焼拡大を防ぐための防災製品の普及、初期消火用の住宅用消火器の紹介、並びに住宅用火災警報器が未設置である住宅に対する設置推進、適切な維持管理の周知及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進について広報活動をしていくことが必要です。

## II 救急概況

救急出動件数は10,961件(307件の増・+2.9%)、救急搬送人数は10,305人(196人の増・+2.0%)で、ともに過去最多となっています。

事故種別ごとの出動件数は、急病6,859件(62.6%)と半数以上を占め、次いで一般負傷1,548件(14.1%)、転院搬送1,262件(11.5%)、交通事故828件(7.6%)の順となっています。

年齢別の搬送人数は、65歳以上の高齢者が6,465人(62.7%)と全搬送人数の6割以上で今後も少子高齢化の進展に伴い更に割合が増加することが予測されます。

救急現場では早期の応急手当が救命のチャンスを拡大しますので、住民への心肺蘇生法の普及やAEDの設置が必要不可欠です。

## III 救助概要

救助出動件数は182件(1件の減・-0.5%)、救助活動件数は111件(24件の減・-18.0%)となっています。また、救助人員は86人(18人の減・-17.7%)です。

事故種別毎の救助出動件数は、交通事故が83件(45.6%)と最も多く、次いで、火災が24件(13.2%)、その他の事故が42件(23.1%)、建物等による事故が14件(7.7%)、水難事故が10件(5.5%)、機械による事故が9件(4.9%)となっています。

救助人員では交通事故が最も多く38人(44.2%)、次いでその他の事故30人(34.9%)、建物等による事故が8人(9.3%)、水難事故が5人(5.8%)、機械による事故が4人(4.7%)、火災が1人(1.2%)の順となっています。

年々、風水害等の規模が大きくなり、甚大な被害が各地で発生しています。被害を最小限にするためには、県内外の消防機関、医療機関、防災機関、国、県及び市町村などとの日頃からの迅速な連携活動が必要不可欠と考えています。

## IV 119番着信概況

平成29年中の119番通報の着信件数の概況は、総着信件数が14,495件で、昨年より130件(0.3%増)多くなっています。事故種別ごとの着信件数を見ますと、「火災通報」137件(0.94%)、「救急通報」10,485件(72.3%)、「救助通報」121件(0.83%)、「警戒通報」251件(1.73%)、「問合せ」840件(5.8%)、「間違い」765件(5.3%)、「悪戯」69件(0.5%)、「訓練等」1,827件(12.6%)でした。総着信件数のうち、火災、救急、救助の災害通報は、10,743件で全体の約74%を占めています。

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・IP電話による通報は9,047件(62.4%)、携帯電話による通報は5,448件(37.6%)でした。携帯電話からの通報は増加傾向にあります。

火災、救助、警戒といった屋外で発生、または発見されることの多い災害では、携帯電話による通報比率が約63%と高く、自宅や屋内などで発生することが多い救急通報は、固定・IP電話による通報比率が約62%と高くなる現象が見られます。

携帯電話からの119番通報では、災害発生場所の確定に時間を要する場合がありますが、統合型位置情報通知システムの導入によりGPS機能を備えた携帯電話からの通報は、おおよその位置情報の把握は可能となりました。しかし、機種によっては位置情報の把握が困難な場合もあります。

# I 火災概況

(平成29年1月～12月)

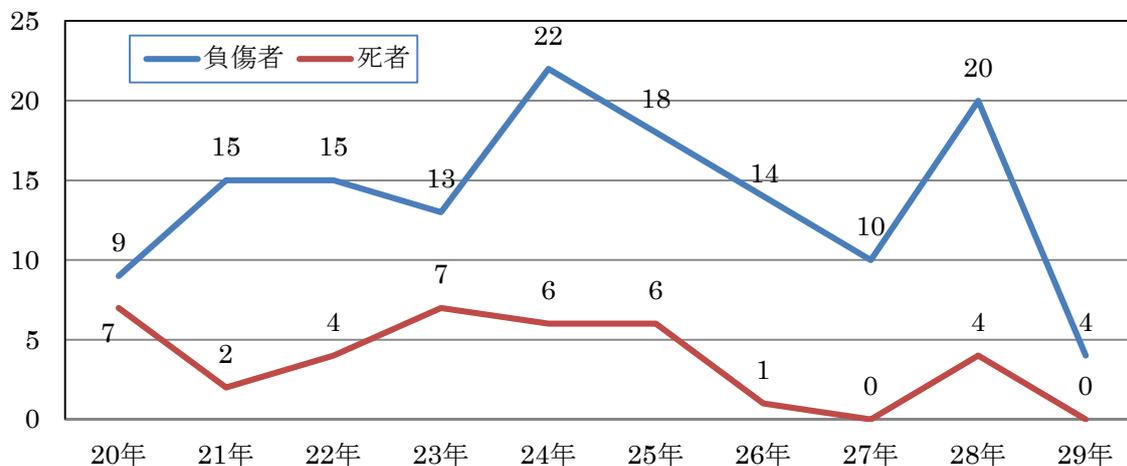
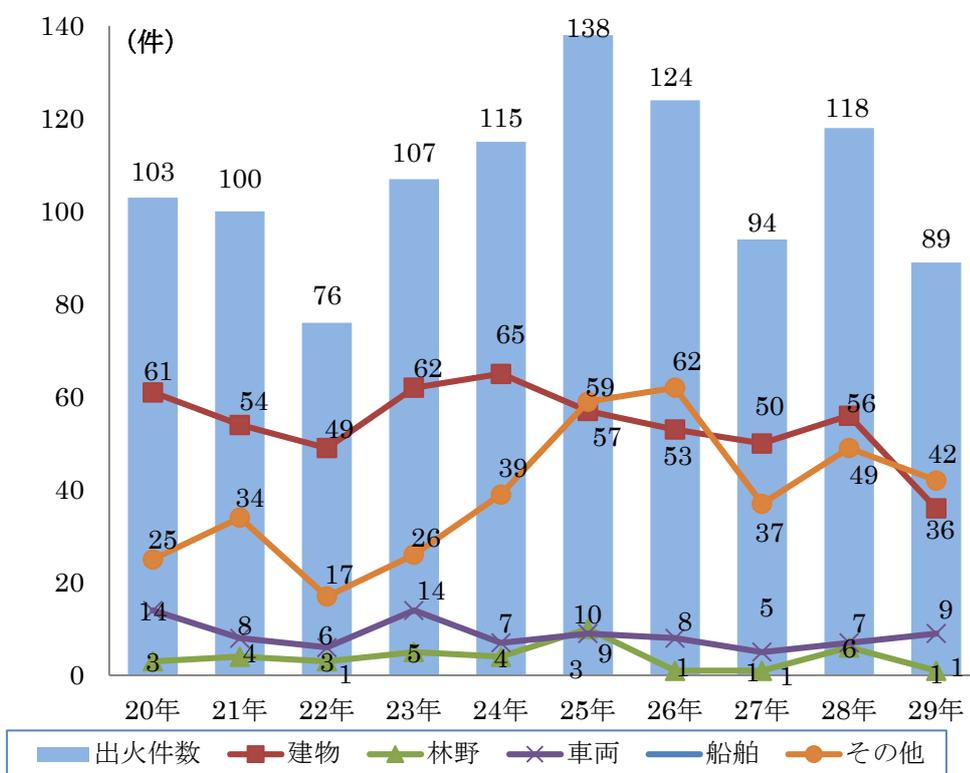
## 1 火災の現況と最近の動向

この10年間の火災件数をみると、平均して100件前後で推移していますが、平成29年は89件で平成22年の76件について2番目に少ない火災件数となりました。昨年と比較して29件（24.6%）の減少となります。

また、平成29年の火災による死者はありませんでした。負傷者は4人発生していますがこの10年間で最も少ないものとなっています。

(別図I-1参照)

別図I-1 火災件数の推移と傾向図



別表 I - 1 火災統括表

区 分 (単 位)	平成20年	平成28年	平成29年	増 減	増 減 率
出火件数	103	118	89	△ 29	△ 24.6
建物火災	61	56	36	△ 20	△ 35.7
林野火災	3	6	1	△ 5	△ 83.3
車両火災	14	7	9	2	28.6
船舶火災	0	0	1	1	—
その他火災	25	49	42	△ 7	△ 14.3
焼損棟数 (棟)	88	83	49	△ 34	△ 41.0
全 焼	29	18	12	△ 6	△ 33.3
半 焼	3	6	4	△ 2	△ 33.3
部 分 焼	30	32	12	△ 20	△ 62.5
ぼ や	26	27	21	△ 6	△ 22.2
建物焼損床面積 (㎡)	3,889	2,942	1,566	△ 1,376	△ 46.8
建物焼損表面積 (㎡)	102	576	208	△ 368	△ 63.9
林野焼損面積 (a)	2	23	6	△ 17	△ 73.9
死 者 (人)	7	4	0	△ 4	—
負傷者 (人)	9	20	4	△ 16	△ 80.0
り災世帯数 (世帯)	40	57	23	△ 34	△ 59.6
全 損	7	17	5	△ 12	△ 70.6
半 損	0	5	4	△ 1	△ 20.0
小 損	33	35	14	△ 21	△ 60.0
り災人員 (人)	135	109	54	△ 55	△ 50.5
損 害 額 (千円)	587,798	135,198	97,388	△ 37,810	△ 28.0
建物火災	558,269	132,673	95,565	△ 37,108	△ 28.0
建物火災1件当たり損害額	9,152	2,369	2,655	286	12.1
林野火災	15	312	0	△ 312	—
車両火災	28,639	1,502	1,775	273	18.2
船舶火災	0	0	0	0	—
その他火災	875	711	48	△ 663	△ 93.2
爆 発	0	0	0	0	—
出 火 率 (件/万人)		5.01	3.81	△ 1.21	—

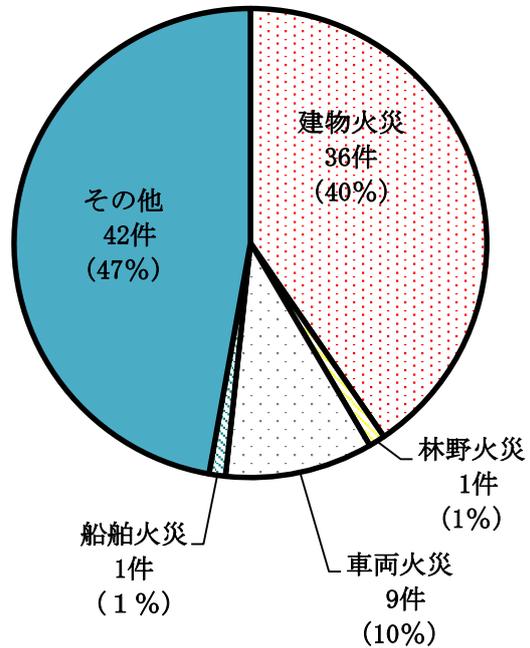
## 2 出火状況

### (1) 建物火災は火災全体の40%

火災件数89件について、その構成比率をみると、その他火災が47%で最も高い比率を占め、その次に建物火災が40%となっています。

(別図I-2参照)

別図I-2 火災種別ごとの件数と構成比率



### (2) 建物火災による損害額は減少

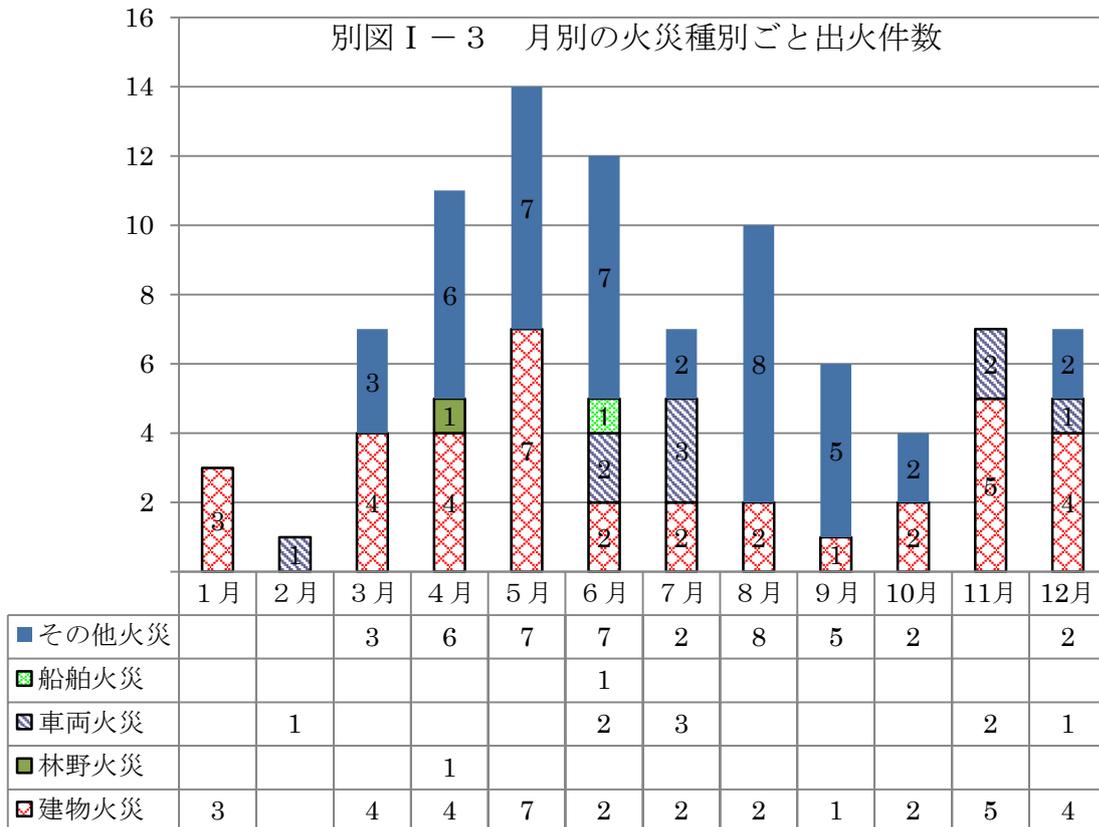
建物火災の損害額は前年比28%減少しました。焼損床面積は前年比約47%減少し、焼損表面積は約64%減少しています。

(別表I-1参照)

### (3) 建物火災は5月に多く発生

月別の火災種別ごとに出火件数をみると、その他火災は42件のうち4月から8月の間に30件発生しています。建物火災は36件のうち3月から5月の間に15件発生し、5月に7件と最も多く発生しています。

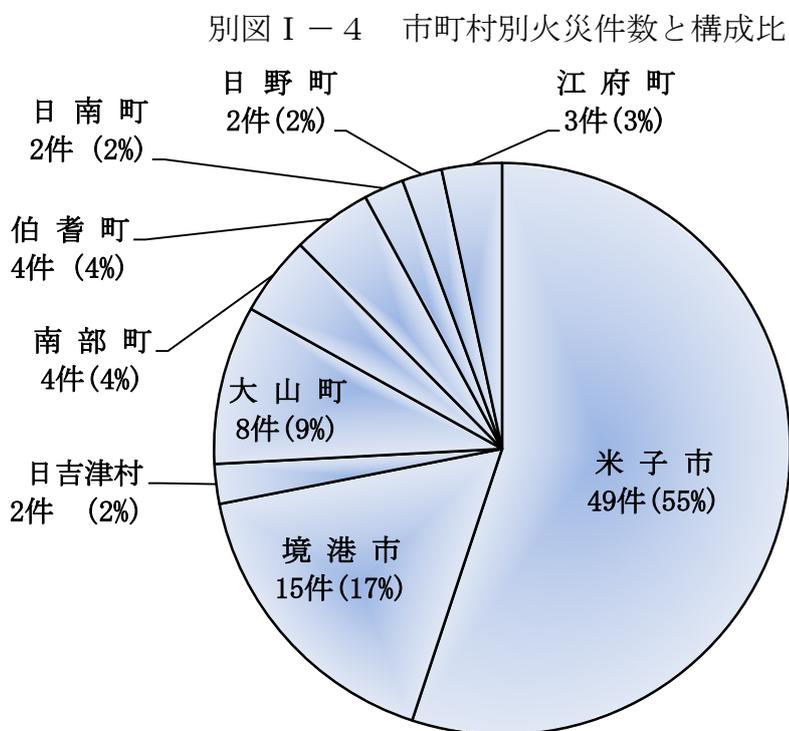
(別図I-3参照)



(4) 市町村別火災状況

火災件数を市町村別で見ると、米子市が最も多く49件(55%)、次いで境港市15件(17%)、大山町8件(9%)となっています。

(別図I-4、別表I-3、別表I-4参照)



3 火災による死傷者の状況

(1) 死者の状況

火災による死者の発生はありませんでした。

(2) 負傷者の状況

負傷者は4人で、前年と比較して16人減少しました。

(別表I-2参照)

別表I-2 火災種別死傷者発生状況

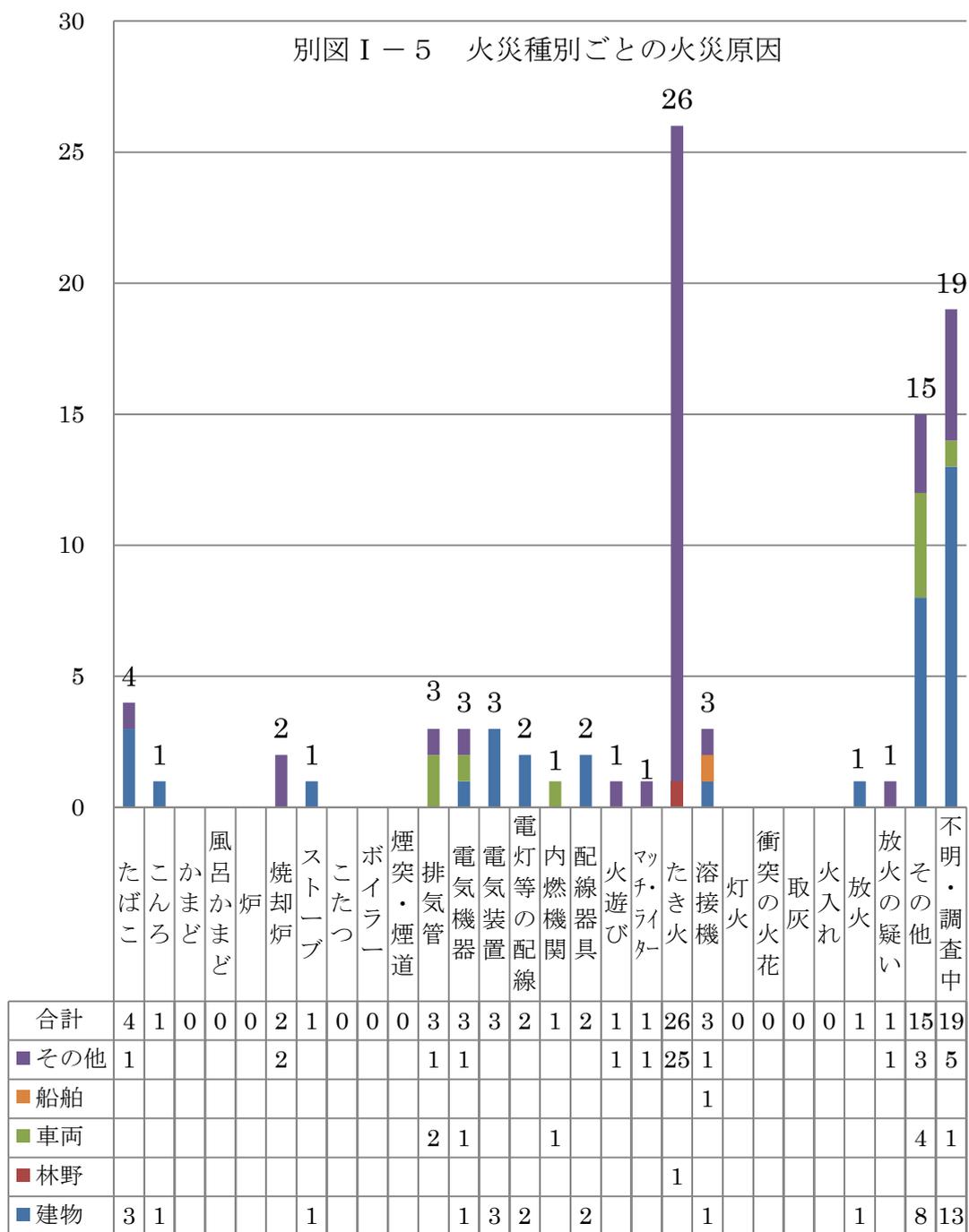
	合計	建物火災						車両火災	林野火災	その他火災
		小計	住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	その他			
死者	0									
死者(0~5歳)	0									
死者(6~64歳)	0									
死者(65歳~)	0									
負傷者	4	4	3				1			

#### 4 出火原因

火災件数 89 件の出火原因を見ると、たき火が 26 件（29%）件ともっとも多く、次いで、たばこ 4 件（4%）となっています。

建物火災の主な原因をみると、たばこ 3 件、電気装置 3 件、電灯・電話等の配線及び配線器具 2 件となっています。

（別図 I - 5 参照）



別表 I - 3

市町村別火災状況

(平成29年1月～平成29年12月)

市町村名	火災件数		焼損面積			焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死傷者		損害額 (千円)				
	合計	前(年)内件数は	建物	林野	車両				船舶	その他		床面積 m <sup>2</sup>	表面積 m <sup>2</sup>	林野 a	死者
米子市	49	(62)	20		3		26	421	10		27	13	20	3	16,171
境港市	15	(13)	5		1	1	8	14	176		5	2	6		498
日吉津村	2	(1)	1				1				1				5
大山町	8	(16)	5				3	413	2		7	5	17	1	19,025
南部町	4	(7)	2		1	1	1	500	5		4	2	9		58,020
伯耆町	4	(10)			2		2								108
日南町	2	(4)	1	1				142	15	6	2	1	2		1,499
日野町	2	(2)	1		1						1				164
江府町	3	(3)	1		1	1	1	76			2				1,898
合計	89	(118)	36	1	9	1	42	1,566	208	6	49	23	54	4	97,388
前年同期管内合計	118		56	6	7		49	2,942	576	23	83	57	109	4	135,198

前年同期管内合計

出火原因 (管内合計)

出火原因	平成29年	平成28年
合計	89	118
たばこ	4	9
こんろ	1	2
かまど		
風呂		1
炉		1
焼却炉	2	1
ストーブ	1	2
こたつ		
ボイラー		
煙突		2
排気管	3	1
電気機器	3	5
電気装置	3	1
電灯配線	2	3
内燃機関	1	
配線器具	2	10
火あそび	1	1
マッチ等	1	3
たき火	1	23
溶接機器	3	1
灯火		3
衝突火花		
取灰		
火入れ		2
放火	1	
放火疑	1	5
その他	15	21
不明・調査中	19	21

別表 I - 4

	平成29年					平成28年					平成27年					平成26年					平成25年						
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他			
米子市	49	20		3		26	62	35	1	3	23	44	26		4	14	49	22		3	24	55	28	1	1	25	
境港市	15	5		1	1	8	13	6	1	1	6	14	5		1	7	19	8		2	9	23	12		2	6	
日吉津村	2	1				1	1				1	1	1				5	1		1	3	0					
大山町	8	5				3	16	5	2	3	6	10	4	1		5	23	12		2	9	20	8	1	2	9	
南部町	4	2		1		1	7	1	1		5	5	3			2	10	5			5	15	2	4	1	8	
伯耆町	4			2		2	10	3	2		5	4	3			1	7		1		6	12	5		1	6	
日南町	2	1	1				4	3			1	5	3			2	4	3			1	6	2	2	1	1	
日野町	2	1		1			2	2				8	3			5	4	1			3	3			1	2	
江府町	3	1		1		1	3	1			2	3	2			1	3	1			2	4	2			2	
合 計	89	36	1	9	1	42	118	56	6	7	49	94	50	1	5	37	124	53	1	8	62	138	57	10	9	3	59

## Ⅱ 救急概況

(平成29年1月～12月)

### 1 救急出動件数、救急搬送状況

平成29年中の救急出動件数は、前年に比べて307件増の10,961件、搬送人員は196人増の10,305人で、件数、人員ともに過去最多となりました。

(別図Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3参照)

### 2 市町村別救急活動状況

平成29年中、全ての市町村において救急出場件数の増加が認められました。

米子市、境港市、大山町では前年より50件以上の増加が認められました。

(別図Ⅱ-4参照)

### 3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が5,092人(49.4%)で最も多く、次いで軽症が3,822人(37.1%)となっています。

(別図Ⅱ-5参照)

### 4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が6,465人(62.7%)と最も多くなっています。

(別図Ⅱ-6参照)

### 5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ3,721件(33.9%)、3,446人(33.4%)と最も多くなっています。

(別図Ⅱ-7参照)

### 6 月別救急活動状況

月別の出動件数は、1月が1015件(9.2%)、続いて12月の998件(9.1%)となっています。

搬送人員は、1月が946人(9.2%)で最も多く、続いて12月の930人(9.0%)となっています。

(別図Ⅱ-8参照)

### 7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は8分4秒で昨年より16秒増加し、平均収容所要時間は37分9秒で前年より3秒減少しました。

(別図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

### 8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者240人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、99人(41.2%)でした。

(別図Ⅱ-11参照)

### 9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者240人のうち救急救命士の高度救命処置により、39人が回復されました。

(別図Ⅱ-12、Ⅱ-13参照)

### 10 救急講習件数の推移

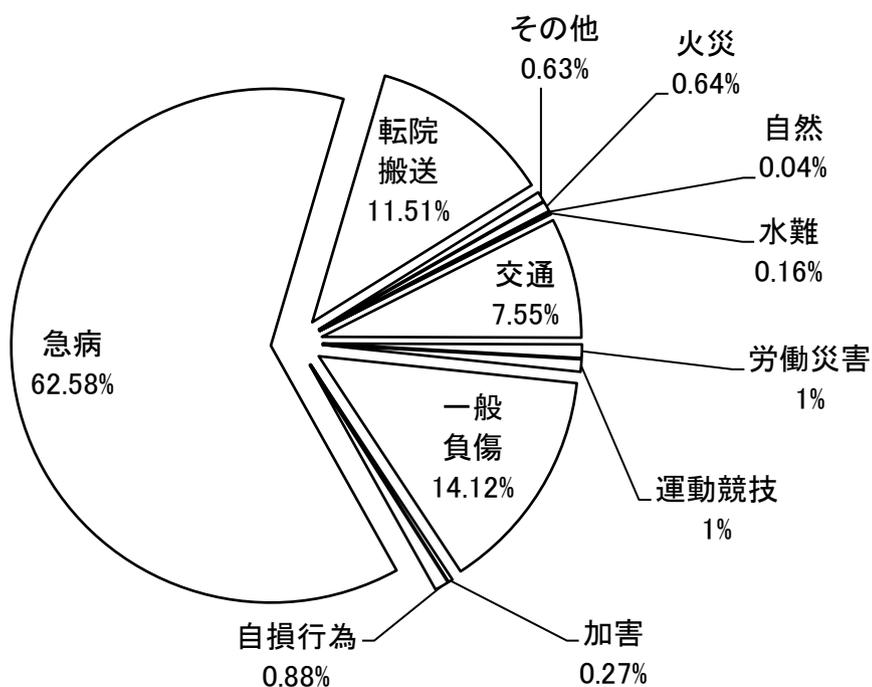
救急講習は毎年500件以上の依頼があり、圏域住民の応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

(別図Ⅱ-14、Ⅱ-15参照)

### 11 市町村別救急活動の推移

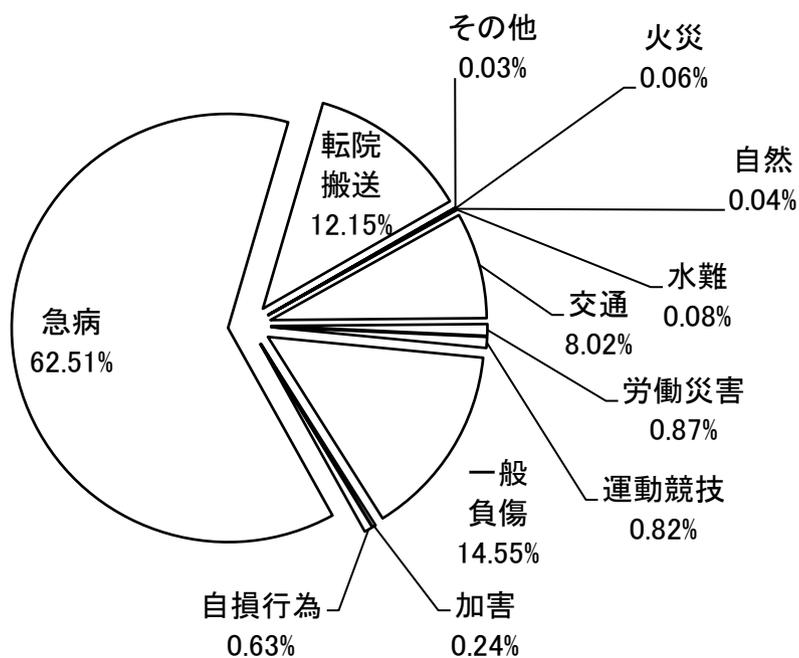
(別表Ⅱ-2参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



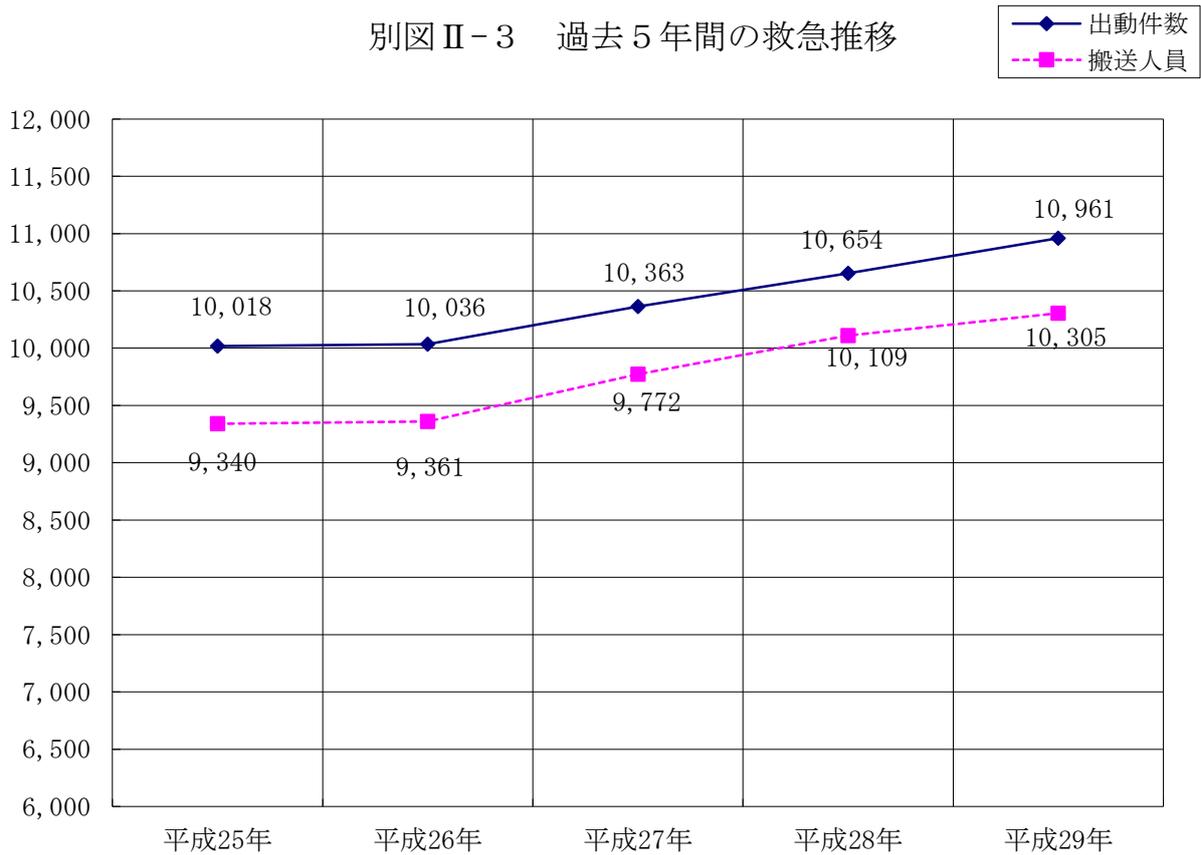
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	70	4	17	828	93	85	1,548	30	96	6,859	1,262	69	10,961

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

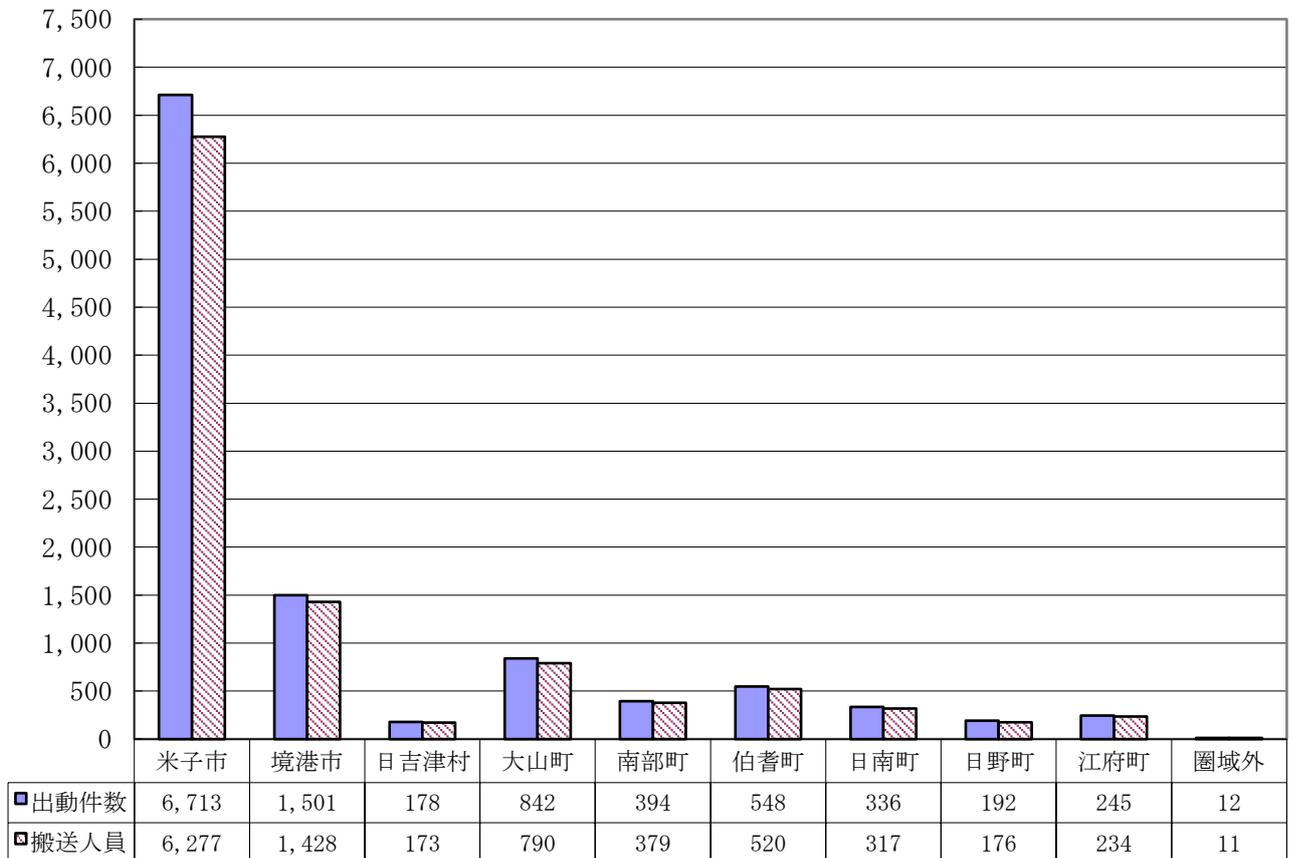


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	6	4	8	826	90	85	1,499	25	65	6,442	1,252	3	10,305

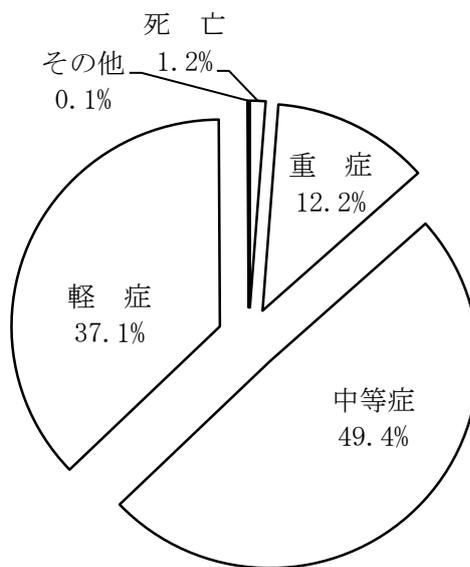
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

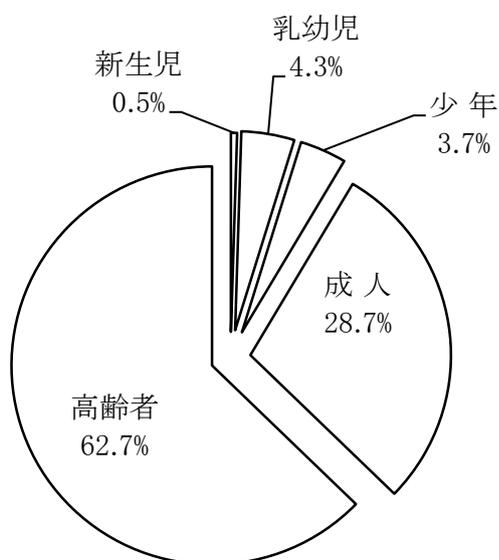


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



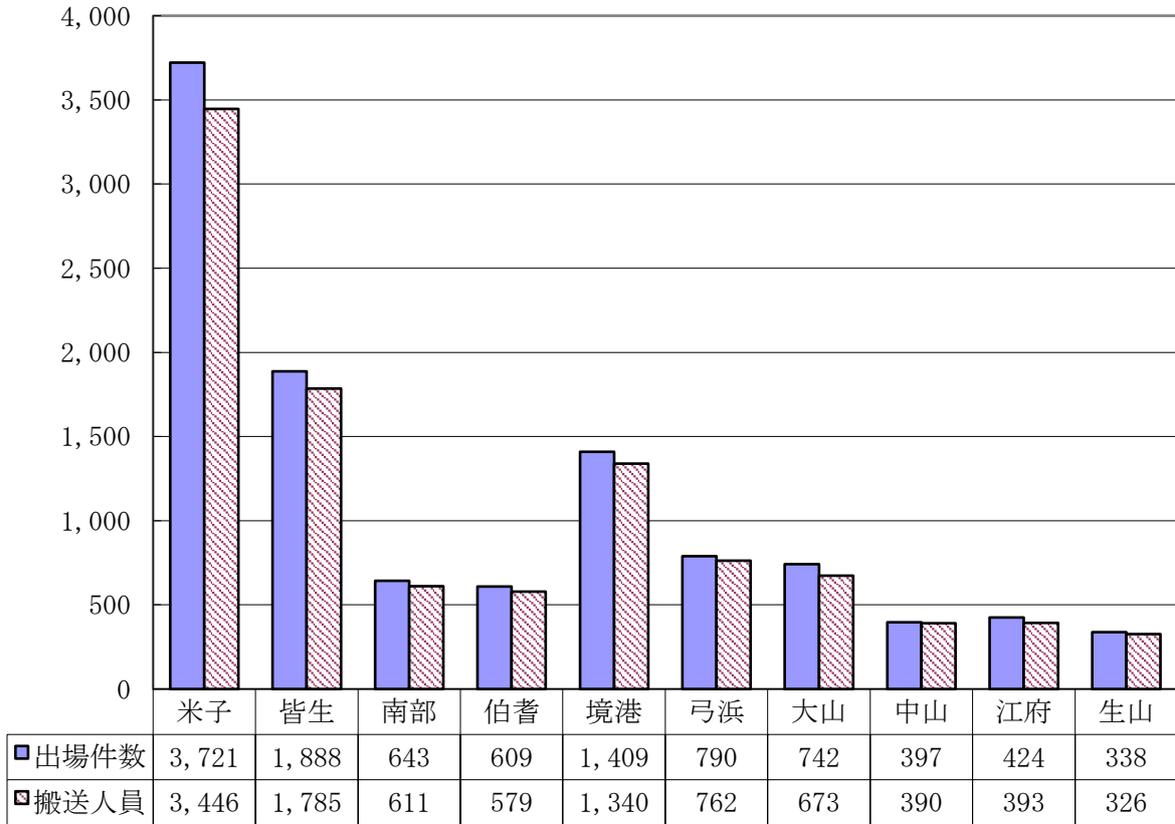
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	125	1,257	5,092	3,822	9	10,305

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

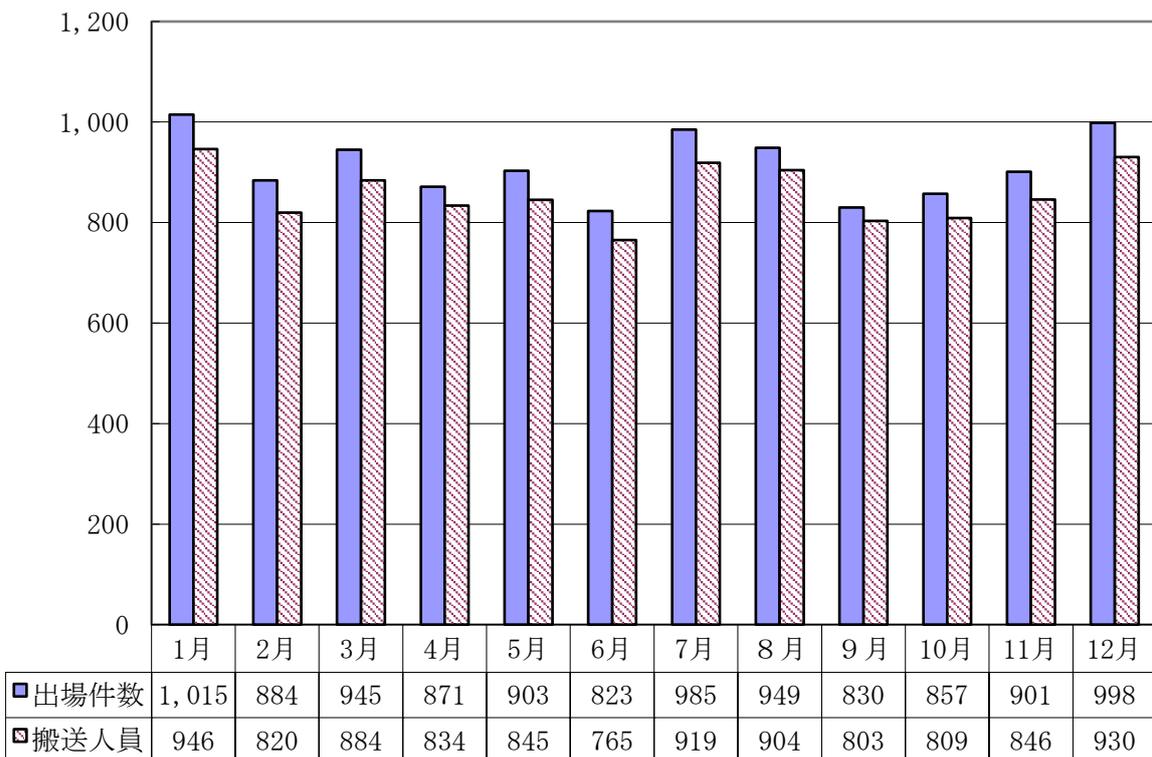


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	51	441	386	2,962	6,465	10,305

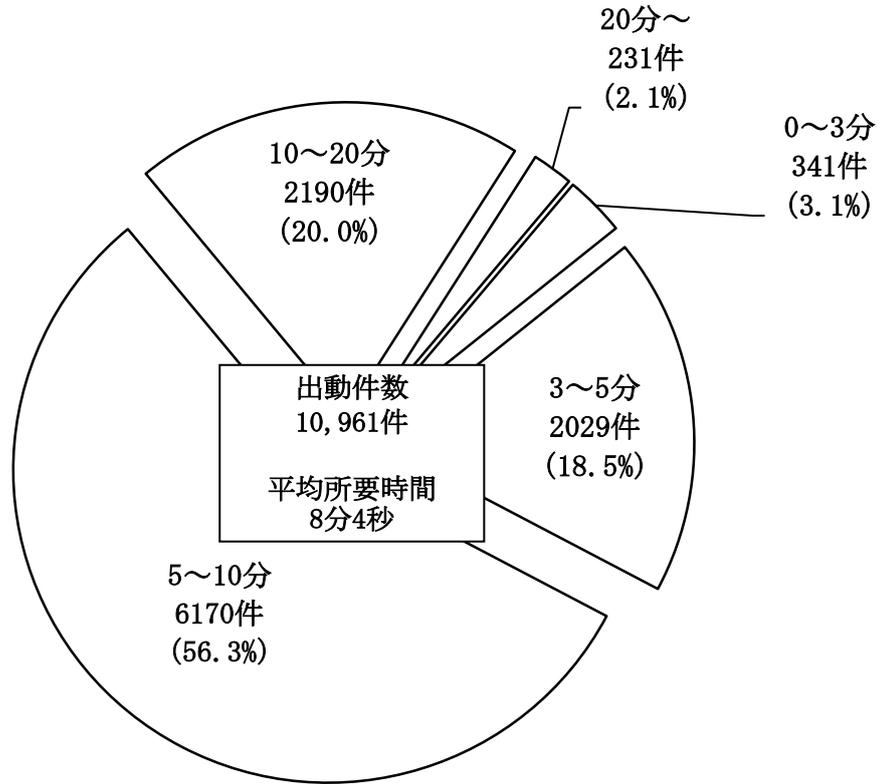
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



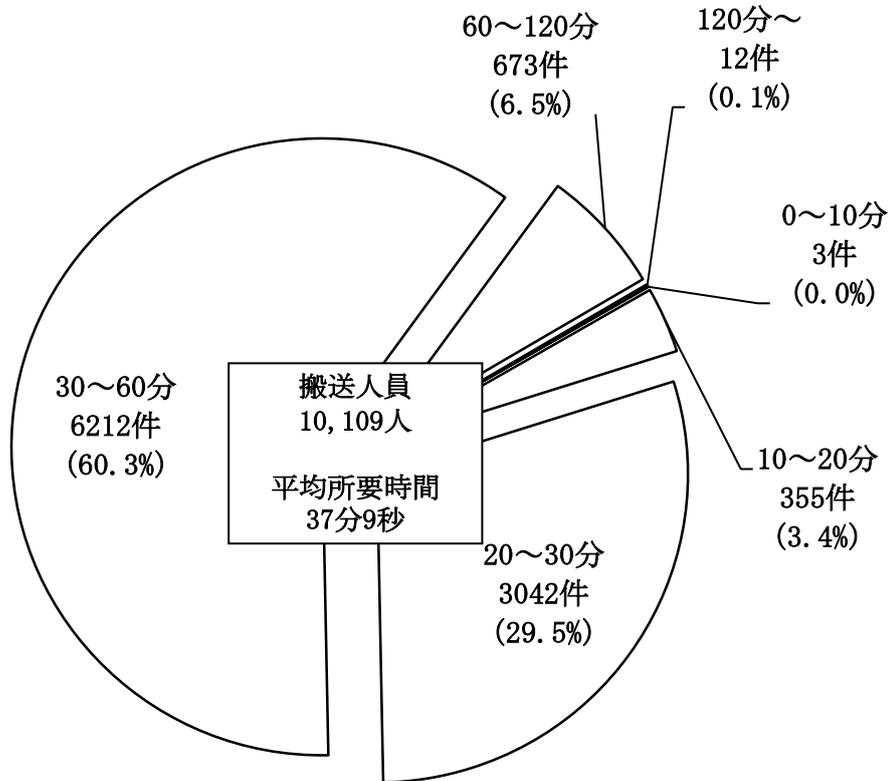
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



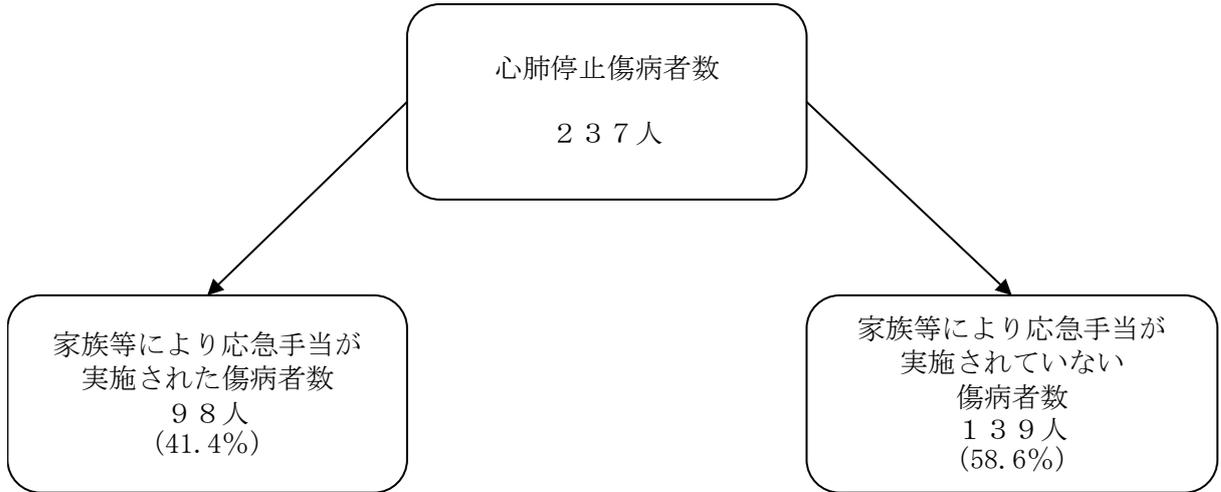
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



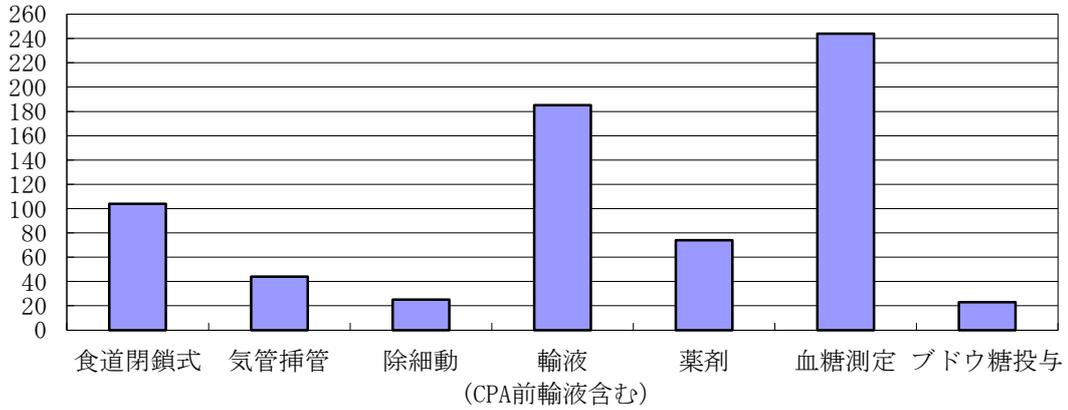
別図Ⅱ-10 收容所要時間



別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況

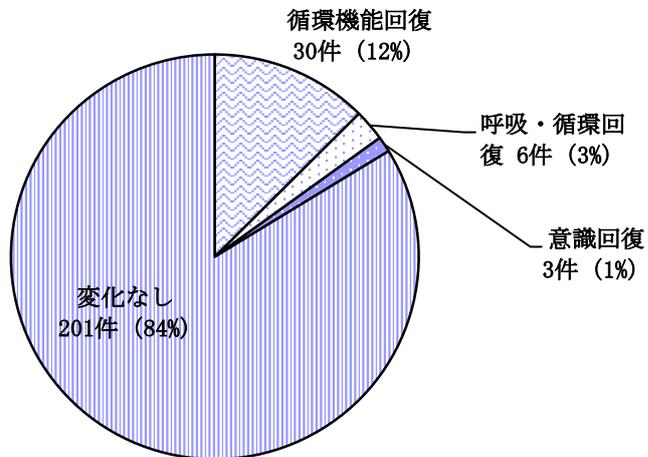


別図Ⅱ-1 2 高度救命処置件数

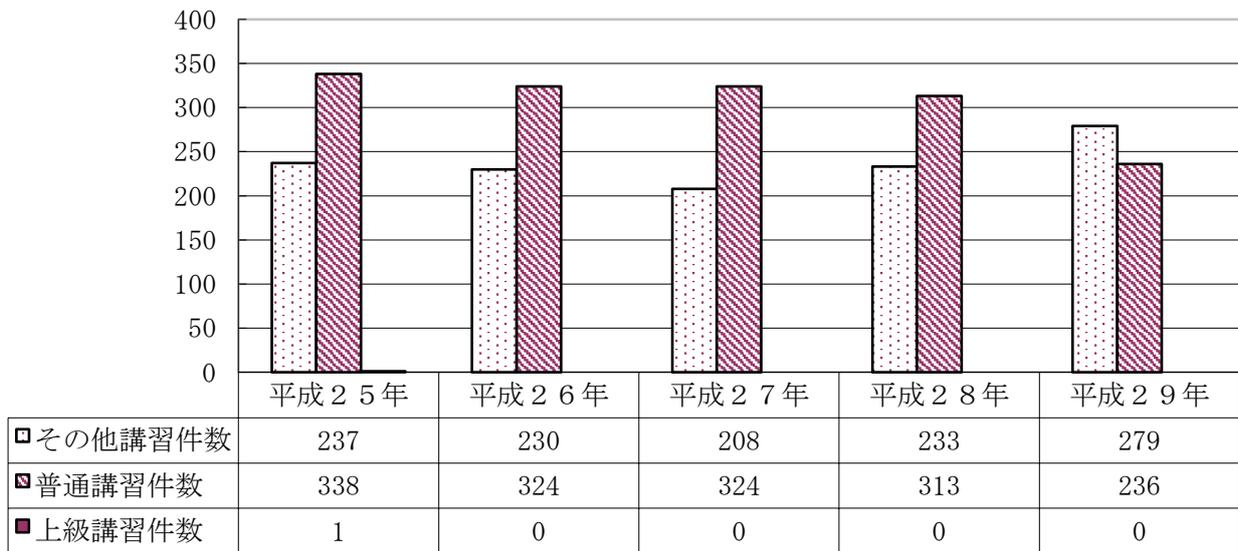


処置項目	食道閉鎖式	気管挿管	除細動	輸液 (CPA前輸液 含む)	薬剤	血糖測定	ブドウ糖投与
実施件数	104	44	25	185	74	244	23

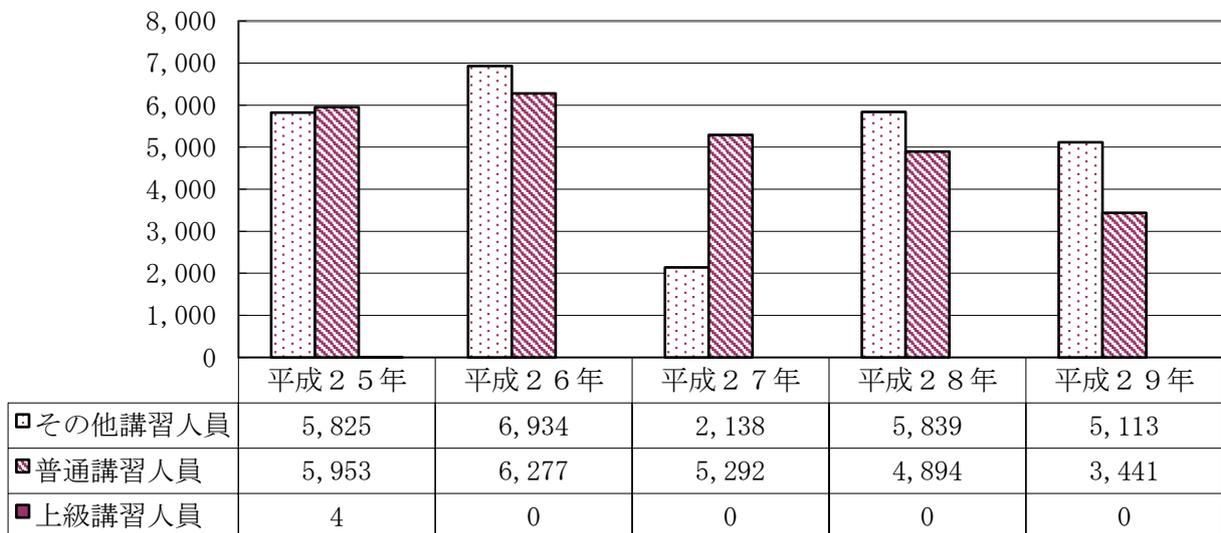
別図Ⅱ-1 3 医師引き継ぎ時の状況



別図Ⅱ－１４ 過去５年間の救急講習件数推移



別図Ⅱ－１５ 過去５年間の救急講習人員推移



別表Ⅱ－1 過去5年間の市町村別救急件数

		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
米子市	件数	6,028	6,088	6,300	6,628	6,713
	搬送人員	5,551	5,645	5,919	6,263	6,277
境港市	件数	1,356	1,329	1,522	1,450	1,501
	搬送人員	1,294	1,265	1,451	1,389	1,428
日吉津村	件数	127	152	128	145	178
	搬送人員	120	139	126	144	173
大山町	件数	860	799	742	783	842
	搬送人員	809	736	697	746	790
南部町	件数	356	384	388	369	394
	搬送人員	331	360	366	352	379
伯耆町	件数	485	441	518	525	548
	搬送人員	474	410	498	502	520
日南町	件数	344	346	345	327	336
	搬送人員	317	327	323	307	317
日野町	件数	184	223	184	191	192
	搬送人員	172	217	175	184	176
江府町	件数	224	229	197	223	245
	搬送人員	217	222	188	213	234
圏域外	件数	54	45	39	13	12
	搬送人員	55	40	29	9	11
合計	件数	10,018	10,036	10,363	10,654	10,961
	搬送人員	9,340	9,361	9,772	10,109	10,305

### Ⅲ 救助概況

(平成29年1月～12月)

#### 1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は182件あり、そのうち交通事故が83件(45.6%)、その他の事故が42件(23.1%)、火災が24件(13.2%)、建物等による事故が14件(7.7%)、水難事故が10件(5.5%)、機械による事故が9件(4.9%)の順となっています。

(別図Ⅲ—1参照)

#### 2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は111件あり、そのうち交通事故が37件(33.3%)、その他の事故が33件(29.7%)、火災が24件(21.6%)、建物等による事故8件(7.2%)、水難事故が5件(4.5%)、機械による事故4件(3.6%)の順となっています。

(別図Ⅲ—2参照)

#### 3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は86人あり、そのうち交通事故が38人(44.2%)と最も多く、次いでその他の事故が30人(34.9%)、建物等による事故8人(9.3%)、水難事故が5人(5.8%)、機械による事故が4人(4.7%)、火災が1人(1.2%)の順となっています。

(別図Ⅲ—3参照)

#### 4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が105件(57.7%)と最も多く、次いで大山消防署が34件(18.7%)、境港消防署が26件(14.3%)、江府消防署が17件(9.3%)の順となっています。

(別図Ⅲ—4参照)

#### 5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数78件(42.9%)、次いで大山町が26件(14.9%)、境港市が20件(11.0%)、伯耆町が12件(6.6%)等の順となっており、他米子道、山陰道へも出動しています。

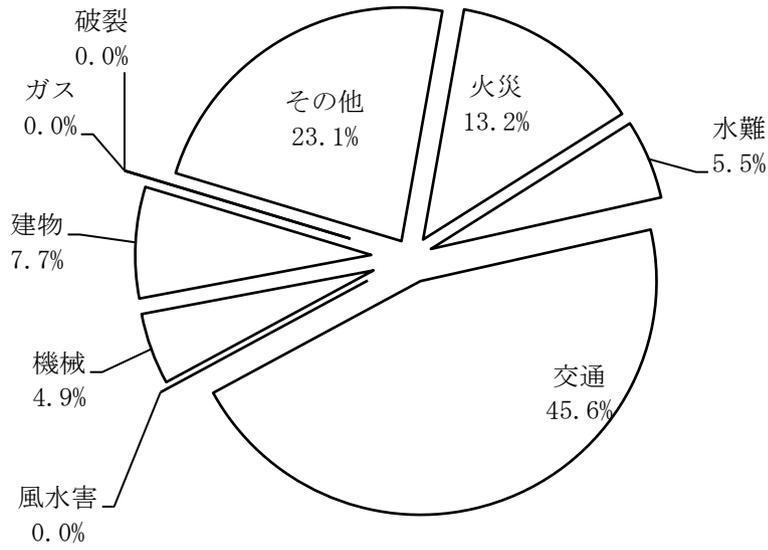
(別図Ⅲ—5参照)

#### 6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、5月が23件(12.6%)と最も多く、次いで12月が20件(11.0%)、3月が19件(10.4%)、8月が16件(8.8%)等の順となっています。

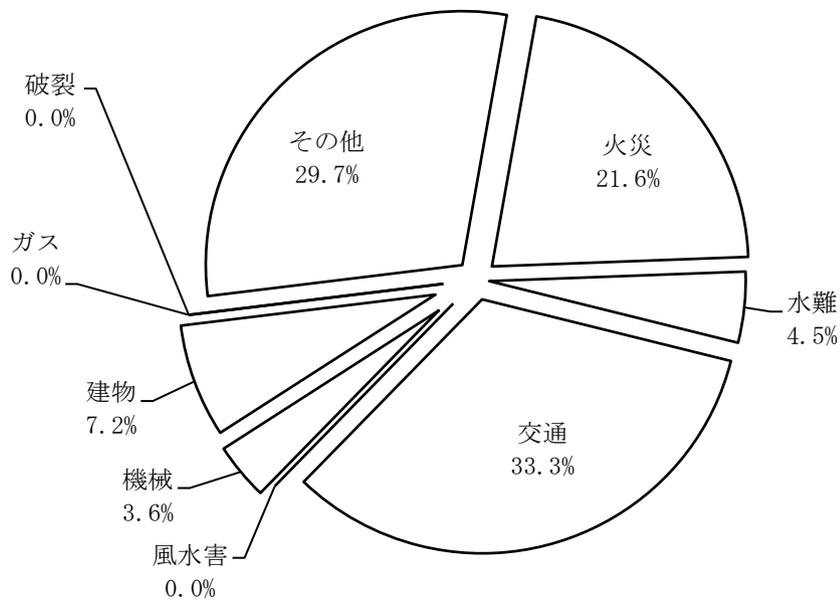
(別図Ⅲ—6参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



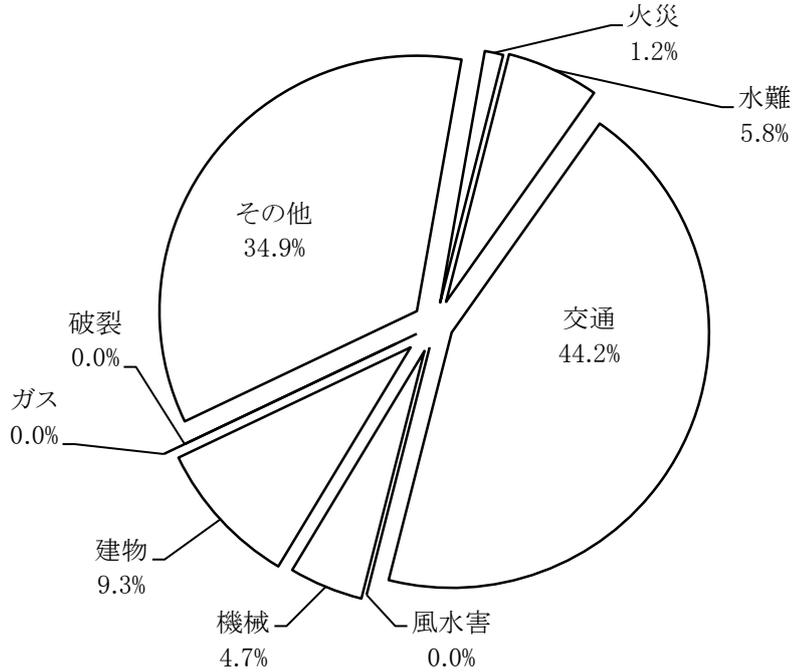
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	24	10	83	0	9	14	0	0	42	182

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



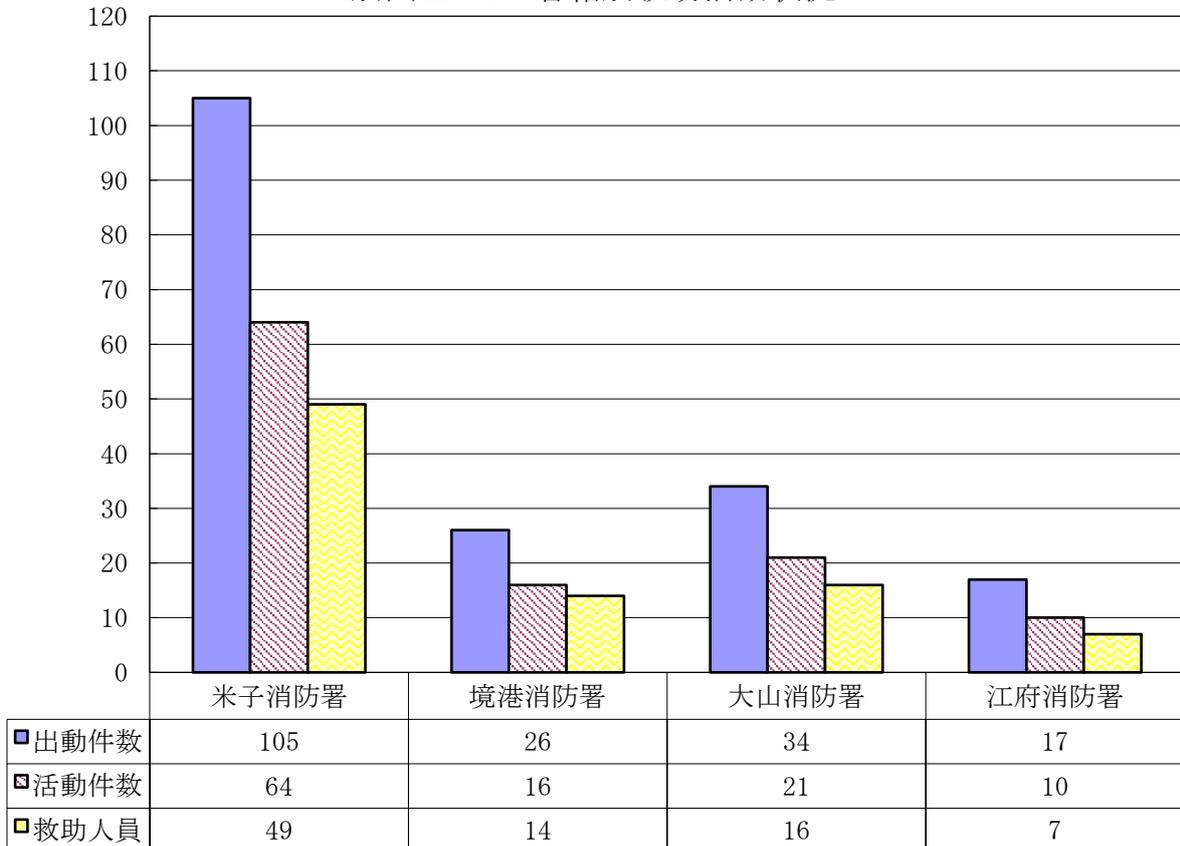
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	24	5	37	0	4	8	0	0	33	111

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

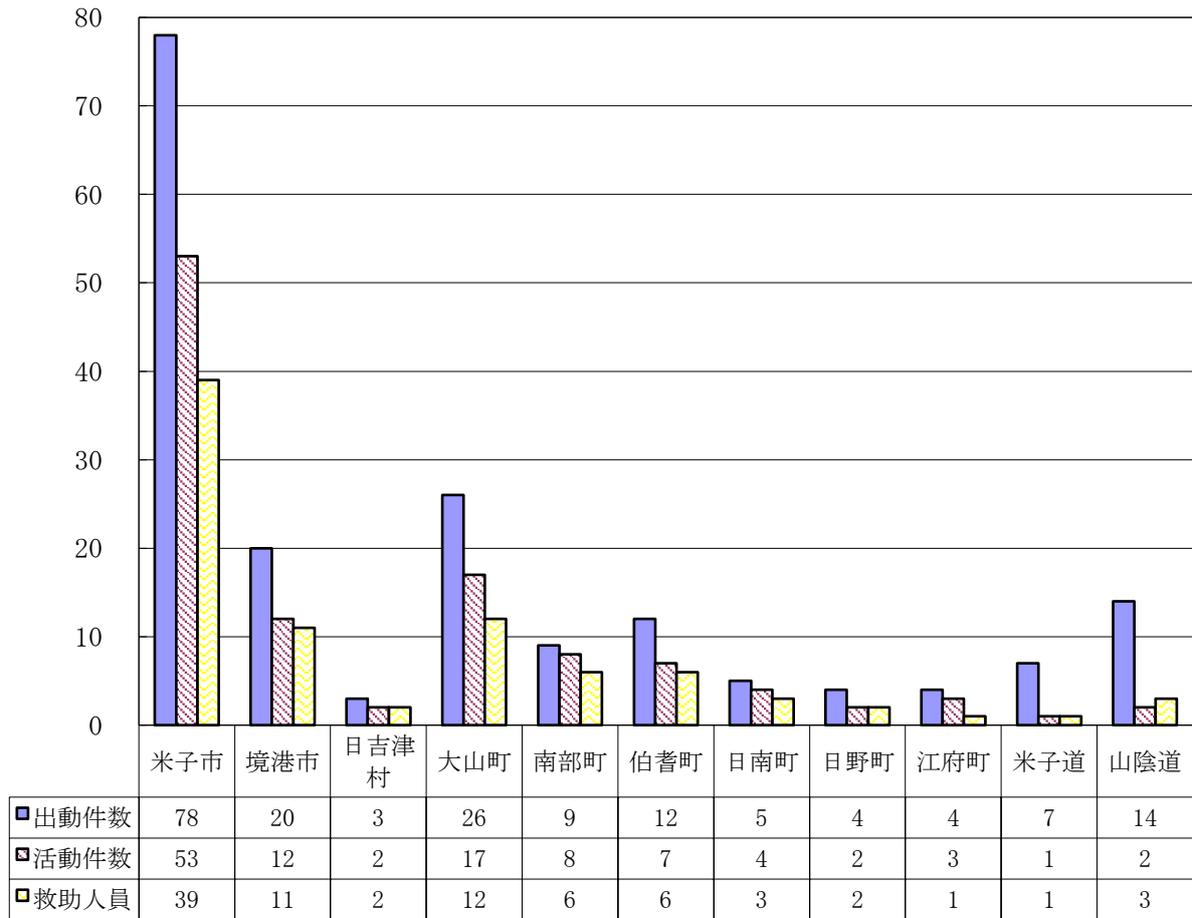


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	1	5	38	0	4	8	0	0	30	86

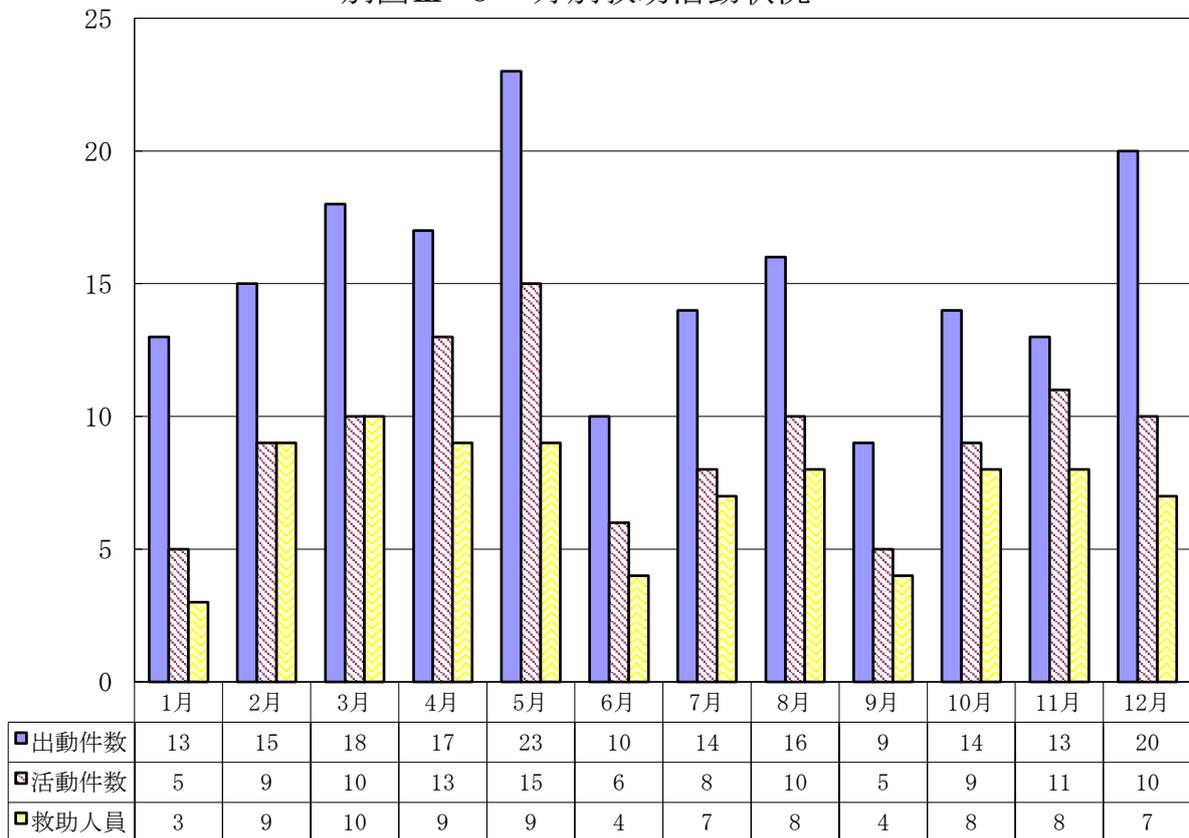
別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



別図Ⅲ-6 月別救助活動状況



## IV 119番着信概況

(平成29年1月～12月)

### 1 着信件数の概況

平成29年中の119番通報の着信件数の概況は、総着信件数14,495件で昨年に比べ130件(昨年比0.3%増)多くなっています。1ヶ月平均にすると約1,207件、1日平均では約40件の着信となります。通報種別としては、救急が最も多く10,485件(72.3%)でした。火災は137件(0.94%)、救助121件(0.83%)、警戒251件(1.73%)、病院などに関する問い合わせ等840件(5.8%)、間違い765件(5.3%)、悪戯と思われるものが69件(0.5%)、通報訓練等1,827件(12.6%)でした。(別表IV-1参照)

### 2 月別の119番着信状況

月別で着信件数の最も多かったのは12月の1,356件で、最も少なかったのは2月の1,091件でした。救急通報で最も多かったのは1月の992件、最も少なかったのは6月と9月の794件で、月平均約873件でした。火災通報で最も多かったのは5月の23件、最も少なかったのは2月の5件で、月平均約11件でした。(別表IV-2参照)

### 3 電話種別による119番着信状況

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・IP電話は9,047件で22件の減少、携帯電話は5,448件で152件の増加でした。固定・IP電話からの通報は減少、携帯電話からの通報は増加傾向にあります。

災害別に電話種別による通報状況を見ますと、火災、救助、警戒など衆人に発見されやすいものについては携帯電話での通報比率が約63%と高く、救急など屋内での発生が多いものについては固定・IP電話での通報比率が約62%と高くなっています。(別表IV-3、IV-4参照)

### 4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は5,448件で、総着信件数の約38%でした。また、携帯電話からの問合せ、間違いなどの通報が多くみられます。

西部消防圏域内から他の消防機関へ着信した119番通報を転送受信した件数は32件でした。逆に西部消防圏域外から着信した119番通報を他の消防機関へ転送処理した件数は54件ありました。

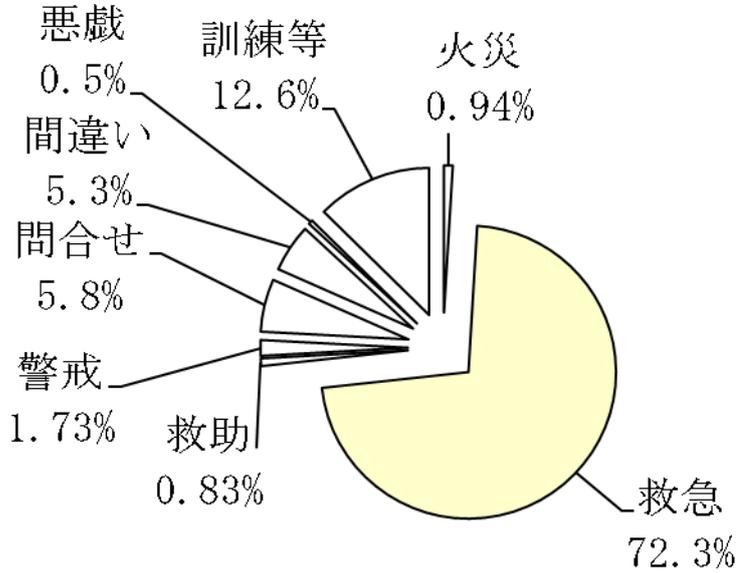
(別表IV-5、IV-6参照)

### 5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別に119番通報の着信比率を見ると、一般的な活動時間帯(午前8時～午後9時台)では全体の約80%で、睡眠時間帯(午後10時～午前7時台)では約20%でした。(別図IV-7参照)

別表Ⅳ-1 119番着信件数

火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
137	10,485	121	251	840	765	69	1,827	14,495

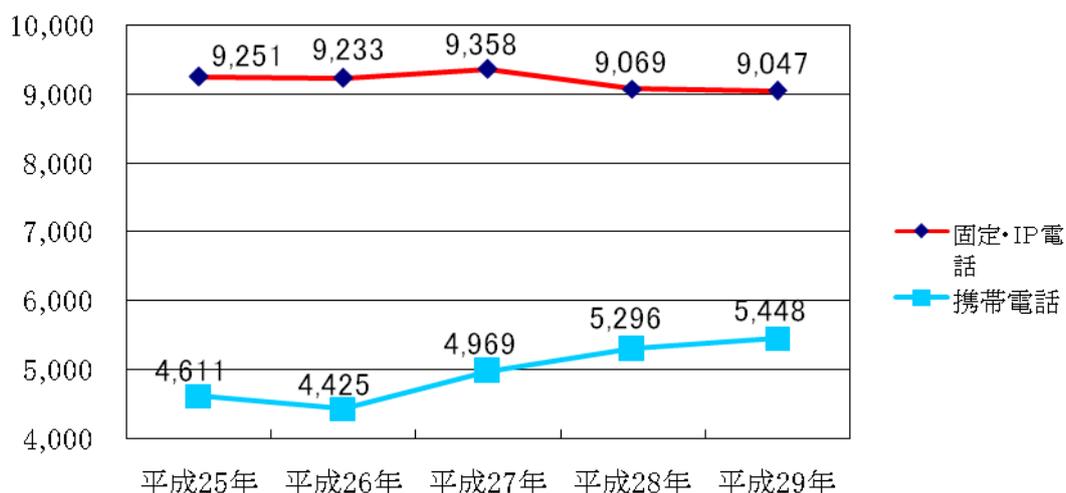


別表Ⅳ-2 月別119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	8	992	10	21	79	77	4	73	1,264
2月	5	853	8	11	38	59	4	113	1,091
3月	8	890	13	31	48	59	3	220	1,272
4月	16	834	9	18	71	46	4	129	1,127
5月	23	851	19	23	69	67	7	160	1,219
6月	20	794	7	18	64	56	6	179	1,144
7月	6	942	10	20	105	71	6	132	1,292
8月	12	917	12	18	90	61	5	46	1,161
9月	8	794	8	24	64	68	4	154	1,124
10月	6	815	9	22	68	66	7	196	1,189
11月	13	857	7	23	73	67	11	205	1,256
12月	12	946	9	22	71	68	8	220	1,356
合計	137	10,485	121	251	840	765	69	1,827	14,495
月平均	11.4	873.8	10.1	20.9	70.0	63.8	5.8	152.3	1,207.9

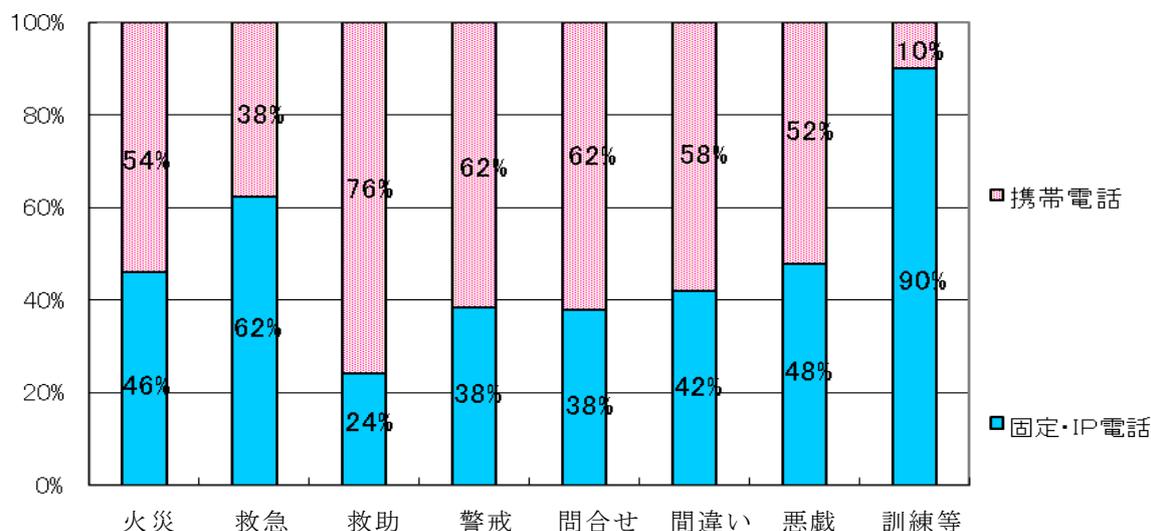
別表Ⅳ－3 電話種別による119番着信件数の推移

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
固定・IP電話	9,251	9,233	9,358	9,069	9,047
携帯電話	4,611	4,425	4,969	5,296	5,448
合計	13,862	13,658	14,327	14,365	14,495



別表Ⅳ－4 電話種別による通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定・IP電話	63	6,543	29	96	318	321	33	1,644	9,047
携帯電話	74	3,942	92	155	522	444	36	183	5,448
合計	137	10,485	121	251	840	765	69	1,827	14,495



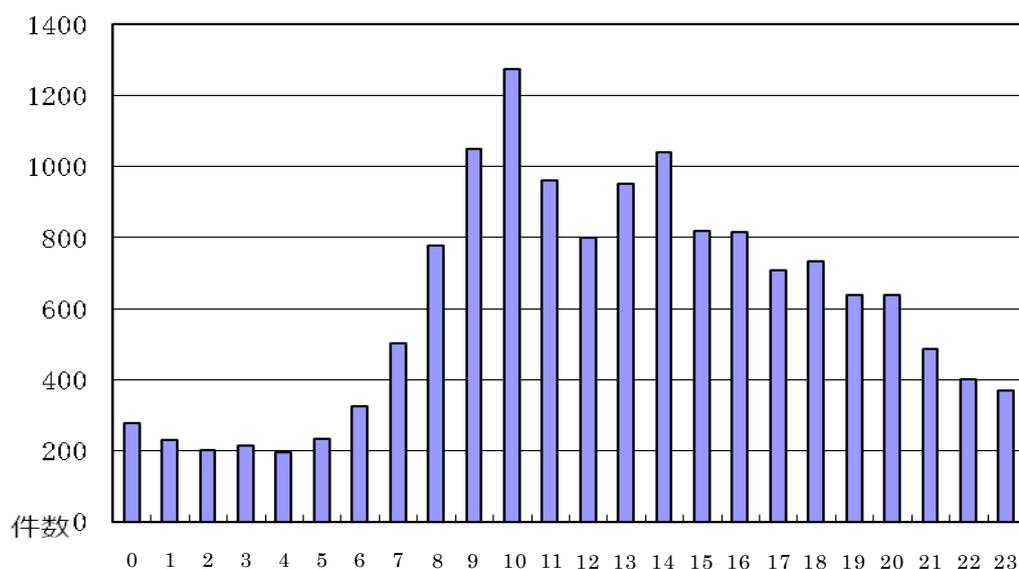
別表Ⅳ－5 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から転送受信した件数	総着信件数	
5,416	32	5,448	54

別表Ⅳ－6 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松江		5	5	10	松江	3	26	2	31
安来		15	1	16	安来		13	1	14
雲南				0	雲南				0
東部			2	2	東部		2		2
中部		3		3	中部		4	1	5
新見				0	新見				0
真庭			1	1	真庭		2		2
津山				0	津山				0
備北				0	備北				0
合計	0	23	9	32	合計	3	47	4	54

別図Ⅳ－7 時間帯別着信状況





# 火の用心 ことばを形に 習慣に

平成29年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市上福原313番地1	683-0004	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3136	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記をお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救助…………… 警防課消防第一係	0859-35-1959
救急…………… 警防課救急室	0859-35-1958
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成30年2月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)